

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年2月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第41期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日） |
| 【会社名】 | 日本ラッド株式会社 |
| 【英訳名】 | Nippon RAD Inc. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役 大塚 隆一 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区虎ノ門二丁目2番5号 |
| 【電話番号】 | 03(5574)7800（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理財務部長 佐々木 啓雄 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区虎ノ門二丁目2番5号 |
| 【電話番号】 | 03(5574)7800（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理財務部長 佐々木 啓雄 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第40期 第3四半期連結 累計期間 | 第41期 第3四半期連結 累計期間 | 第40期 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日 | 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日 | 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 2,740,250 | 2,981,427 | 4,306,461 |
| 経常損益(は損失) (千円) | 475,400 | 308,961 | 7,479 |
| 四半期(当期)純損失() (千円) | 474,886 | 323,715 | 7,054 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 460,244 | 317,051 | 36,166 |
| 純資産額 (千円) | 1,361,825 | 1,537,630 | 1,858,236 |
| 総資産額 (千円) | 4,063,154 | 4,426,818 | 4,358,183 |
| 1株当たり四半期(当期)純損失金額() (円) | 118.21 | 80.58 | 1.76 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 33.0 | 34.6 | 42.2 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 137,736 | 235,912 | 180,647 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 271,731 | 563,344 | 502,469 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 83,068 | 440,123 | 50,060 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円) | 1,136,032 | 1,202,393 | 1,091,128 |

| 回次 | 第40期 第3四半期連結 会計期間 | 第41期 第3四半期連結 会計期間 |
|----------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日 | 自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日 |
| 1株当たり四半期純損失金額() (円) | 43.07 | 45.34 |

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

- 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。
- 第40期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
- 四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等の締結は次のとおりであります。
(シンジケートローン契約の締結)

当社は、平成23年11月4日の取締役会決議に基づき、株式会社三菱東京UFJ銀行をアレンジャー兼エージェントとする、金融機関4社からなるシンジケートローン契約を以下のとおり締結しております。

| | |
|--------|---|
| 契約日 | 平成23年11月30日 |
| 実行日 | 平成23年11月30日 |
| 契約金額 | 5億円 |
| 契約期限 | 平成28年9月12日 |
| 参加金融機関 | 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社滋賀銀行 株式会社伊予銀行 株式会社北洋銀行 |

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた動きが進むなか、政府債務問題に起因した欧州諸国の信用不安が、海外経済の減速や円高による輸出減少を招き、国内の景気の先行きは不透明な状況が依然として続きました。

情報サービス産業界におきましては、震災を契機とした情報システムの安全性確保やモバイル端末関連に対する需要は拡大しているものの、企業の情報化投資は、依然として慎重な姿勢は継続しており、事業環境は厳しい状況であることに大きな変化はなく推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「品質向上」「人材強化」「新技術へのチャレンジ」をテーマに経営基盤の強化に取り組み、高収益体質と成長分野への進出に努めました。また、「排熱型データセンター」を「クラウドサービス」の戦略的基盤として位置付け、ネットワーク事業の強化拡大を図るとともに、これまでの組み込み系のシステム開発、ビジネスソリューションの提供等においても、より一層の付加価値の創造に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高29億81百万円（前年同期比8.8%増）、営業損失2億86百万円（前年同期は4億29百万円の損失）、経常損失3億8百万円（前年同期は4億75百万円の損失）、四半期純損失3億23百万円（前年同期は4億74百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「プロダクトマーケティング事業」では、プロダクツ製品のラインナップのうち、クライアントPCの情報漏洩対策と資産管理機能を備えたパッケージ商品「MaLion(マリオン)3」と業界最速クラスのリアルタイム分析エンジンを持ち、企業活動に伴う各種数字の予測分析を行うソリューション商品「IBM Cognos TM1」の販売が伸長したこと、LED光源による大型壁面マルチスクリーンディスプレイパネルの販売が引続き牽引したことにより、売上高3億18百万円（前年同期比51.2%増）となりました。

「ビジネスソリューション事業」では、派遣常駐型は伸長したものの、地方事業所の受注環境が引続き厳しいことや不採算が発生している一部の開発案件が完了しておらず、売上高11億73百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

「システムソリューション事業」では、医療機関向け医事システムである再来受付機の新機種「MIS-SE7EN」の販売が伸長していること、特殊車両向け情報車載端末の通信方式FOMA化切替え需要により、売上高12億64百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

「ネットワーク事業」では、事業継続計画/管理（BCP/BCM）や災害復旧計画(DRP)の再考をはじめとして、IT投資の見直しを進める企業の要望に応えるため、ハイパフォーマンスヘリニューアルした専用サーバ「Helios(ヘリオス)」シリーズの販売が好調に推移しました。

また、サービスの拡充と付加価値向上に努め、セキュリティ面と監査機能に重点を置きクラウド上に置いたファイルの保管場所をURL情報にして、メールのメッセージ等にてファイルを受け渡しすることでファイル共有を行うサービス「クラウドポスト」、パソコンからの自動バックアップを可能にする機能を追加したクラウド型のファイルサーバーサービス「Cumulus（キュムラス）」等をリリースして、SaaS(サーサイズ)TMブランドで展開しました。この結果、売上高2億24百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

(2)財政状態の分析

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は25億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1億11百万円、仕掛品が1億24百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金4億32百万円の減少によるものであります。固定資産は18億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億15百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は44億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は12億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。これは主に短期借入金1億10百万円、1年内返済予定の長期借入金1億19百万円、受注損失引当金が1億1百万円増加しましたが、買掛金が1億20百万円、1年内償還予定の社債が2億40百万円減少したことによるものであります。固定負債は15億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億73百万円増加いたしました。これは主に社債が1億80百万円、長期借入金2億65百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は28億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億89百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は15億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失3億23百万円及び剰余金の配当20百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は34.6%（前連結会計年度末は42.2%）となりました。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1億11百万円増加し、12億2百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは2億35百万円の収入（前年同期は1億37百万円の支出）となりました。これは主に、売上債権の減少4億32百万円、減価償却費1億65百万円、受注損失引当金の増加1億1百万円、たな卸資産の増加1億20百万円、税金等調整前四半期純損失3億14百万円などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは5億63百万円の支出（前年同期は2億71百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得4億5百万円、無形固定資産の取得1億57百万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは4億40百万円の収入（前年同期は83百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増加1億10百万円、長期借入れによる収入5億円、社債の発行による収入3億円、長期借入金の返済による支出1億15百万円、社債の償還による支出3億60百万円、少数株主の増資引受による払込額32百万円などによるものです。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

なお、当社は財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めており、その内容等（会社法施行規則第118条第3号に掲げる事項）は次のとおりであります。

（基本方針の内容）

日本ラッドは昭和46年の創業以来、情報化社会の基盤を構築する当社グループの業務を通して、経済の発展と活力ある豊かな社会の実現に貢献してまいりました。またこの間、ITソリューションプロバイダーとしての開発経験、ノウハウを蓄積するとともに、顧客、従業員、パートナー企業や最先端技術を保有する国外の大手ソフトウェア開発企業等の取引先、その他ステークホルダーとの間で良好な関係を築いてまいりました。

当社の事業活動において、お客様の要望に応じた仕様、技術、サービスの面で競合他社との差別化を図るためには、単なる商品販売、受託開発にとどまらず、コストパフォーマンスに優れたサービスの提供が肝要であります。そのためには、高度な技術の保有とそのための研究開発、営業および技術のノウハウを有する人材の育成等を重視し、その上で、その高度な技術を有機的に融合させ、安全で高性能・高品質かつ付加価値の高いシステムを構築、提供することが必要であり、その実現に向けた体制の構築が、企業価値ひいては株主共同の利益の向上につながるものと考えております。よって、当社の経営にあたっては、専門性の高い業務知識や営業のノウハウを備えた者が取締役等に就任して、法令および定款の定めを遵守しつつ、当社の財務および事業における方針の決定の任にあたるのが、当社の企業価値ひいては株主共同の利益に資するものと考えております。

近年では、わが国においても、企業の成長戦略として企業買収等の手法が多用されておりますが、当社は、このような市場原理に基づく手法は、企業成長に向けたひとつの重要な選択肢であると認識しております。また、金融商品取引所に株式を上場している企業である以上、株主は市場での自由な取引を通じて決まるものであり、株式の大量買付行為を含む当社の支配権の異動については、最終的には株主の皆様の判断に委ねられるべきものであると認識しております。

しかしながら、買収の目的や買収後の経営方針等に鑑み、企業価値ひいては株主共同の利益を侵害する恐れのあるもの、既存の株主に株式の売却を事実上強要する恐れのあるもの、対象会社の取締役会や株主が買い付けの条件等について検討し、あるいは対象会社の取締役会が代替案を提案するための十分な時間を提供しないもの等、対象会社の企業価値ひいては株主共同の利益に資さないものもあります。当社はこのような大量買付行為は不適切なものと考えます。

以上を、当社の基本方針としておりますが、上記のような要件に該当する当社株式の大量買付行為が行われようとした場合において、当社がその大量買付行為に対して反対する旨を表明するにとどまるものであり、原則として当社の財務及び事業の方針の決定が支配されることの防止策について、株主総会および取締役会で決議することを定めるものではありません。

しかしながら、株主の皆様の意思が正しく反映される環境を確保するために、法令、金融商品取引所等の諸規則および当社定款に沿って、対抗策等の検討を継続するとともに、当社株式の大量買付行為等についての日常的な確認活動等を実施し、株主の皆様の共同の利益や企業価値を損なうことがないように、機動的に対応していく所存であります。

(5)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 15,000,000 |
| 計 | 15,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年2月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|------------------|
| 普通株式 | 4,505,390 | 4,505,390 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 4,505,390 | 4,505,390 | - | - |

(注) 「提出日現在発行数」には、平成24年2月1日以降この四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|----------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成23年10月1日～ 平成23年12月31日 | - | 4,505,390 | - | 772,830 | - | 880,425 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年9月30日の株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 488,300 | - | - |
| | (相互保有株式) 普通株式 407,900 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 3,608,600 | 36,086 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 590 | - | - |
| 発行済株式総数 | 4,505,390 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 36,086 | - |

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-----------------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 日本ラッド株式会社 | 東京都港区虎ノ門 2 - 2 - 5 | 488,300 | - | 488,300 | 10.84 |
| (相互保有株式) 都築電気株式会社 | 東京都港区新橋 6 - 19 - 15 | 407,900 | - | 407,900 | 9.05 |
| 計 | - | 896,200 | - | 896,200 | 19.89 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アスカ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,091,128 | 1,202,393 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,169,076 | 736,368 |
| 商品及び製品 | 102,083 | 95,061 |
| 仕掛品 | 232,992 | 357,958 |
| 原材料及び貯蔵品 | 29,293 | 31,858 |
| その他 | 118,157 | 108,303 |
| 貸倒引当金 | 2,921 | 1,691 |
| 流動資産合計 | 2,739,810 | 2,530,250 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 748,353 | 964,128 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 74,870 | 44,649 |
| その他 | 330,734 | 409,427 |
| 無形固定資産合計 | 405,605 | 454,076 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 200,052 | 209,164 |
| 繰延税金資産 | 107,126 | 106,217 |
| その他 | 214,706 | 220,829 |
| 貸倒引当金 | 57,472 | 57,848 |
| 投資その他の資産合計 | 464,413 | 478,363 |
| 固定資産合計 | 1,618,372 | 1,896,567 |
| 資産合計 | 4,358,183 | 4,426,818 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 368,636 | 247,644 |
| 短期借入金 | 90,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 158,576 | 277,701 |
| 1年内償還予定の社債 | 420,000 | 180,000 |
| リース債務 | 6,093 | 7,749 |
| 未払法人税等 | 15,409 | 15,651 |
| 賞与引当金 | 34,343 | 17,326 |
| 受注損失引当金 | 62 | 101,390 |
| 持分法適用に伴う負債 | 8,730 | 8,730 |
| その他 | 279,476 | 240,864 |
| 流動負債合計 | 1,381,329 | 1,297,059 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 240,000 | 420,000 |
| 長期借入金 | 372,556 | 637,624 |
| リース債務 | 12,100 | 21,044 |
| 退職給付引当金 | 294,421 | 310,713 |
| 役員退職慰労引当金 | 187,634 | 193,638 |
| 負ののれん | 4,732 | 2,622 |
| 資産除去債務 | 5,386 | 5,585 |
| その他 | 1,786 | 898 |
| 固定負債合計 | 1,118,617 | 1,592,128 |
| 負債合計 | 2,499,946 | 2,889,187 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 772,830 | 772,830 |
| 資本剰余金 | 880,425 | 880,425 |
| 利益剰余金 | 366,898 | 48,238 |
| 自己株式 | 226,398 | 226,419 |
| 株主資本合計 | 1,793,755 | 1,475,074 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 47,017 | 57,792 |
| その他の包括利益累計額合計 | 47,017 | 57,792 |
| 新株予約権 | 4,764 | 4,764 |
| 少数株主持分 | 12,698 | - |
| 純資産合計 | 1,858,236 | 1,537,630 |
| 負債純資産合計 | 4,358,183 | 4,426,818 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 2,740,250 | 2,981,427 |
| 売上原価 | 2,619,555 | 2,711,521 |
| 売上総利益 | 120,694 | 269,905 |
| 販売費及び一般管理費 | 550,282 | 555,978 |
| 営業損失() | 429,587 | 286,072 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,134 | 263 |
| 受取配当金 | 1,942 | 1,964 |
| 持分法による投資利益 | - | 939 |
| その他 | 2,092 | 1,808 |
| 営業外収益合計 | 5,168 | 4,976 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,356 | 18,233 |
| 社債発行費 | - | 7,800 |
| 持分法による投資損失 | 26,343 | - |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,306 | - |
| その他 | 5,975 | 1,831 |
| 営業外費用合計 | 50,981 | 27,865 |
| 経常損失() | 475,400 | 308,961 |
| 特別利益 | | |
| 債務保証損失引当金戻入額 | 14,470 | - |
| 役員退職慰労引当金戻入益 | 37,288 | - |
| その他 | 3,536 | - |
| 特別利益合計 | 55,296 | - |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 3,581 |
| 固定資産除却損 | 11,047 | 642 |
| 減損損失 | 1,018 | - |
| 事務所移転費用 | 33,415 | 1,505 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 6,168 | - |
| その他 | 2,503 | - |
| 特別損失合計 | 54,154 | 5,729 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 474,258 | 314,691 |
| 法人税等 | 7,549 | 13,134 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 481,807 | 327,825 |
| 少数株主損失() | 6,920 | 4,109 |
| 四半期純損失() | 474,886 | 323,715 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 481,807 | 327,825 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 21,563 | 10,774 |
| その他の包括利益合計 | 21,563 | 10,774 |
| 四半期包括利益 | 460,244 | 317,051 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 453,323 | 312,941 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 6,920 | 4,109 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失() | 474,258 | 314,691 |
| 減価償却費 | 53,537 | 165,418 |
| 減損損失 | 1,018 | - |
| のれん償却額 | 13,628 | 12,664 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 6,347 | 16,292 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 32,036 | 6,004 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 19,772 | 17,017 |
| 債務保証損失引当金の増減額(は減少) | 20,953 | - |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 6,614 | 852 |
| 受注損失引当金の増減額(は減少) | 2,425 | 101,328 |
| 受取利息及び受取配当金 | 3,076 | 2,228 |
| 支払利息 | 17,356 | 18,233 |
| 為替差損益(は益) | 3,963 | 1,428 |
| 持分法による投資損益(は益) | 26,343 | 939 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | - | 3,581 |
| リース解約損 | 2,317 | - |
| 固定資産除却損 | 11,047 | 642 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 6,168 | - |
| 事務所移転費用 | 33,415 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 484,787 | 432,181 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 247,943 | 120,508 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 52,527 | 112,485 |
| その他 | 36,247 | 71,762 |
| 小計 | 117,640 | 260,813 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,112 | 2,238 |
| 利息の支払額 | 16,588 | 17,350 |
| 法人税等の支払額 | 6,620 | 9,788 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 137,736 | 235,912 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 50,000 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | 83,296 | 405,353 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 137,346 | 157,113 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 139 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | 23,064 | - |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,017 | 99 |
| その他 | 22,994 | 916 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 271,731 | 563,344 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（は減少） | 192,000 | 110,000 |
| 長期借入れによる収入 | 30,000 | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 55,017 | 115,807 |
| 社債の発行による収入 | - | 300,000 |
| 社債の償還による支出 | 60,000 | 360,000 |
| 少数株主の増資引受による払込額 | - | 32,000 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | 4,012 | 6,207 |
| 自己株式の取得による支出 | 4 | 21 |
| 配当金の支払額 | 19,898 | 19,839 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 83,068 | 440,123 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,963 | 1,428 |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 330,363 | 111,264 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,466,395 | 1,091,128 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,136,032 | 1,202,393 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

| 項目 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年12月31日) |
|---------|--|
| 税金費用の計算 | 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 |

【追加情報】

| 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年12月31日) |
|--|
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)
該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年12月31日) |
|---|---|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) (千円) | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年12月31日現在) (千円) |
| 現金及び預金勘定 1,136,032 | 現金及び預金勘定 1,202,393 |
| 現金及び現金同等物 1,136,032 | 現金及び現金同等物 1,202,393 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 20,085 | 5 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月28日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 20,085 | 5 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上 (注)3 |
|---------------------------|------------------|-----------------|-----------------|------------|-----------|-------------|-----------|-------------|------------------------------|
| | プロダクツ マーケティング | ビジネスソ リューション | システムソ リューション | ネットワー ク | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 210,925 | 1,283,470 | 1,018,606 | 227,247 | 2,740,250 | - | 2,740,250 | - | 2,740,250 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 210,925 | 1,283,470 | 1,018,606 | 227,247 | 2,740,250 | - | 2,740,250 | - | 2,740,250 |
| セグメント利 益又は損失 () | 6,010 | 117,035 | 24,148 | 180,368 | 81,471 | 10,944 | 92,415 | 337,172 | 429,587 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国為替証拠金取引業等を含んでおります。

(注)2 セグメント損失の調整額 337,172千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注)3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|---------------------------|------------------|-----------------|-----------------|------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | プロダクツ マーケティング | ビジネスソ リューション | システムソ リューション | ネットワー ク | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 318,996 | 1,173,416 | 1,264,693 | 224,321 | 2,981,427 | - | 2,981,427 | - | 2,981,427 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | 5,000 | 5,000 | - | 5,000 | 5,000 | - |
| 計 | 318,996 | 1,173,416 | 1,264,693 | 229,321 | 2,986,427 | - | 2,986,427 | 5,000 | 2,981,427 |
| セグメント利 益又は損失 () | 56,496 | 77,048 | 74,701 | 188,516 | 19,730 | 18,957 | 773 | 286,845 | 286,072 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国為替証拠金取引業等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益の調整額 286,845千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり四半期純損失金額 | 118円21銭 | 80円58銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失金額(千円) | 474,886 | 323,715 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純損失金額(千円) | 474,886 | 323,715 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 4,017,158 | 4,017,120 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月10日

日本ラッド株式会社
取締役会 御中

アスカ監査法人

指定社員 公認会計士 田 中 大 丸
業務執行社員

指定社員 公認会計士 法 木 右 近
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本ラッド株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本ラッド株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管している。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。